

平成23年12月

コミュニティ大宮だより

絆

あきら

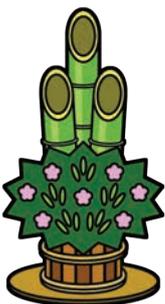
No.2



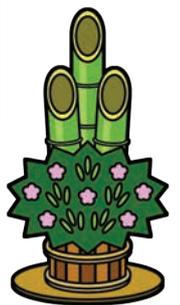
(大宮中学校 吹奏楽部の皆さん...)



- 1～2ページ：大宮地域まちづくり推進委員会 『表紙の言葉』
- 3～4ページ：大宮公民館
- 5ページ：大宮地区社会福祉協議会
- 6～7ページ：特別寄稿～「大宮地区の昆虫たち」～
【徒然草】 【編集後記】



発行人：林田 光雄 編集責任者：日高 寛
 大宮地域まちづくり推進委員会事務局 (TEL&FAX:0985-31-3433)
 編集者：鶴山美弥子 小岩屋良子 小倉 正暢 身吉 和子



この冊子は地域コミュニティ活動交付金を活用して作成しました。

大宮地域まちづくり推進委員会

リーダー育成研修視察について

大宮地域まちづくり推進委員会
会長 林田 光雄

今年国内で、最大の出来事は何と言っても東日本大震災、大きな地震に伴って発生した津波、それによって多くの方々が亡くなりました。また、原発事故により、心ならず住み慣れた街を離れ、不自由な暮らしを余儀なくされている被害者の現状を見た時、人命は何物にも代えがたき大切な事と思います。

ご承知の様に、宮崎県は昨年ほど大変な年はなかったのではないかと思います。牛や豚の口蹄疫に始まり、鳥インフルエンザ、たくさんの家畜が処分されました。また霧島山系の新燃岳の噴火もあり、遠く離れた宮崎市まで多くの降灰がありました。

宮崎市の人々はこの様な災害にたいして、いまだかつてない危機感を持ちました。

我々の住む、宮崎市沖の日向灘、昔から地震の巣窟と言われていています。いつ何時、今回の様な地震・津波が起きてもおかしくないわけで、それだけに市民の防災意識も高まっています。

今年の9月に行われた大宮地区のリーダー育成は、この様な自然災害から身を守る上で、過去に大きな被害のあった被災地をこの目でみて、お話を聞いて勉強するのが一番と考え、普賢岳の被災地に建つ長崎県島原市「雲仙岳災害記念館」で防災についての研修を行いました。

今回の研修で学んだことを今後の大宮地域まちづくりに役立てたいと思っています。



☆平成23年度まちづくり事業☆

部会名	事業	部会名	事業
防犯・防災部会	防災訓練	スポーツ・健康部	ウォーキング大会
	「ソナエあればウレイナシ」の作成		スポーツ・健康フェスタ
	防犯パトロール事業の推進		市地区対抗駅伝大会参加
学校・地域社会連携部会	石碑解説書作成		グラウンドゴルフ大会
	学校支援	高齢者福祉講習会	
	新成人への写真贈呈	高齢者の生活実態調査	
	花づくり講習会	環境保全部会	新別府川清掃



(吹奏楽部：部長)

【表紙の言葉】
皆さんこんにちは！
大宮中学校吹奏楽部です。私たちは宮崎市内を中心的に活動しています。今年は吹奏楽コンクールで金賞、マリンキングコンテストで銀賞をとることが出来ました。また、「みやざき国際ストリート音楽祭」「まつりえれこっちゃんやざき」「神武さま」や「大宮公民館まつり」「高齢者福祉講習会」などでも演奏させていただきました。顧問の先生方のご指導のもと、日々成長しています。3年生も引退し淋しくなりますが、これからも真面目に練習に取り組み、大宮中吹奏楽部の『音』を皆さんに届けたいです。どうぞ応援を宜しくお願いします。



神宮西神苑での防災訓練



神宮西神苑での高規格救急車の展示



濱砂久美子さんによる「花づくり講習会」



池内小での
学習のお手伝い



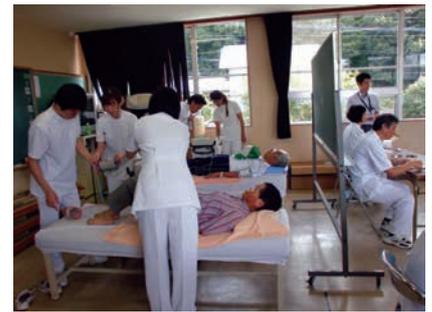
地域の方が、大宮小のふるさと
歴史探訪学習の講師に



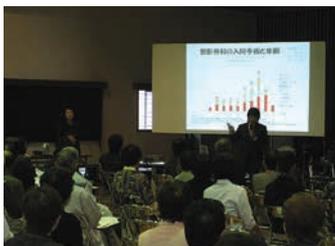
ウォーキング大会「さあ出発だ！」



スポーツ・健康フェスタ
金魚すくい



スポーツ・健康フェスタ
血管伸縮性検査



高齢者福祉講習会



ロコモ体操



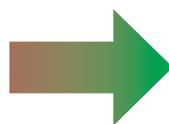
大宮中吹奏楽部の演奏



安心カード
継続中



新別府川草刈り作業前



草刈り作業後

大宮公民館

大宮公民館よりの案内

「平成24年成人式」について

平成24年大宮地区成人式は、1月8日（日）に大宮中学校で行われます。現在、成人式実行委員会を中心に準備を進めているところですが、大宮地区の皆様方にも多数のご参加をいただき、地域をあげて新成人を激励・祝福していただきますようお願いいたします。

なお、今回も"大宮地域まちづくり推進委員会"の支援を受け、新成人者に記念写真を贈る予定です。また、新成人者には12月上旬に、最終の案内書面が市役所より送付されます。

「公民館講座」について

大宮公民館では、生涯学習の一環として、公民館講座を開講しております。23年度は、前期12講座・後期10講座を開講しましたが、受講生は、緊張感のなかにも楽しく受講していただいております。現在後期講座開講中ですが、内容を紹介します。

なお、24年度講座は24年5月開講予定であり、詳細は3月中旬頃にお知らせの予定です。



健康ヨガ：各自体調に合ったメニューで（何より継続が大切）



大宮地区文化財史跡探訪教室
地元の文化財・史跡を巡りました
（宮崎の原点は大宮地区から）



パソコン初級教室エクセル・ワード
ゆっくり確実に習得されています
（あとは活用のみ）



パン作り教室：手作りパンはやっぱり
違います（実感していただきました）



子育て交流教室：子ども達のパワーに
圧倒される毎回です
お母さんたちは情報交換



親子で絵本と料理：おにぎり作りと
絵本の読み聞かせ
（親子で楽しい時間でした）



夏休み子ども書道教室：1年生から
6年生までそれぞれの手本に真剣に
取組ました（宿題完成）



男性料理教室：あとは自宅での実践のみ
（やれば出来る！期待しています）



絵手紙教室：草花や野菜、どこに
でもある小さな題材ですが、季節感
いっぱい



俳句入門教室：17文字で季節感を表現
（春夏秋冬を実感します）



書道教室：雑念を払い、半紙に向かい、
筆の走らす緊張感と爽快感！
何物にもかえがたい



11月3日に開催された「大宮地区ふれあい総合文化祭」の内容を紹介いたします。



「花と緑のフェスタ部」：
花の苗の無料配布、花作り講習会（2回）、花の展示等盛りだくさん（配布の花はきれいに咲かせて下さいね）



「発表部門」には20グループの演技発表がありました。



大宮中学校吹奏楽部



大宮小学校合唱部



下北方保育園



いずみ幼稚園



大宮保育園



花ヶ島幼稚園



大宮教室（太極拳）



斉藤静子太鼓教室



大宮なぎなた



県オペラ協会宮崎支部



大宮中学校合唱部



ひまわり（琴伝流大正琴）



大宮詩吟愛好会・詩吟クラブ



大宮若柳会



月曜クラブ（レクダンス）



鈴の会（舞踊）



池内自治会婦人部



はなの会（大極扇28式）



エトワール宮崎（手話ダンス）

「展示部門」

園児（幼稚園・保育園園児）から大人まで、大作から小品まで日頃の取組みの成果がうかがえるものばかりでした。



ハーモニック大宮

「ふれあい活動部」

竹細工を作ったり、折り紙を折ったり、手造りのものは、子ども達にも大人気！



「バザー部」

多くの品物の提供をいただき、賑わっていました。



大宮地区社会福祉協議会

ともに助けあい 支えあう 福祉のまち 大宮 23年度各事業の推進状況です。

大宮地区社会福祉協議会では、設立4年目を迎えた本年度は、「各事業の更なる充実」を目指して取り組みを進めてきております。

まず、各部会が取り組んでいる各事業では、「高齢者福祉講習会」は今話題の「ロコモティブ症候群への予防」をテーマにし、「高齢者グラウンドゴルフ大会」は参加者の増加を図り、「子育て講演会&みんなで遊ぼう」では内容の変更と参加対象者の拡大を行っております。



健康増進と交流を深めました。



ロコモ体操で
健康な毎日を…



小児科医師の話に納得 いろんなゲームで遊んだよ



今年度3回目の
「ふれあい会食会」

福祉懇談会で情報交換

担当区域に分かれて見守り活動の充実を図ります。

一方、「社協便り7号（平成23年9月発行）」でお知らせしました「福祉協力員ジャケット」の着用を11月12日に協力員の方々にお願いしました。このジャケット着用を通して、福祉協力員の存在や活動が地域の皆さん方の安心・安全や利便性に一層繋がることを期待しているところです。

各自治会単位では、「ふれあい会食会」の回数の増加や、「福祉懇談会」の実施をお願いしています。さらに、「高齢者等生活支援体制づくり」についても、モデル事業への参加検討をお願いしております。現在、各地域の実態等も踏まえながら自治会単位で充実に向けて鋭意努力いただいているところです。



早速、着用しての活動です。
（ふれあい会食会にて）

お問い合わせ相談等もお気軽にどうぞ

大宮地区社会福祉協議会（コミュニティ大宮内）月～木 9:00～16:00 TEL/FAX 29-3791

特別寄稿

大宮地区の昆虫たち

日本昆虫協会会長 小岩屋 敏（神宮北在住）

「大宮地区の昆虫について何か書いてくださいますか？ただしノーギャラですけど（アッハッハ）」と地域事務所のS氏からのお誘い。ノーギャラで原稿を書くのは慣れているし、お言葉に甘えて書かせて頂くことにしました。

最近最も話題になった昆虫は、何といてもキオビエダシャクという昼間飛び回る綺麗なガでしょう。一昨年、昨年と宮崎市全体で大発生し、生垣のイヌマキ（＝ヒトツバ）がボロボロに食われて大騒ぎになったことは記憶に新しい。むろん大宮地区も例外ではなく、景清廟近くの民家にそびえていた直径1m弱のヒトツバ大木が、幼虫に食われて何度も丸裸になった挙句とうとう枯れてしまいました。大発生中に一度網を持って退治に行きましたが、その数何百とも知れず（ひょっとしたら何千？）、2百匹ほど採ったけど全然減らないのですぐギブアップ。自宅のカラスザンショウの花にも、何十匹もの成虫が蜜を吸いに飛んできて、その数の多さに驚いたものです（写真）。

ある日、2人のご婦人が拙宅に來られました。

「すぐそこで何とかというガが『空が真っ黒』（本当か？）になるほど飛んでいます、市に頼んで殺虫剤をまいてもらえませんか！話によれば毒があるっていうじゃありませんか！！」

「あのね～、毒といっても鳥が食べると毒になるというだけのハナシで、人間が成虫や幼虫に触っても全く何の問題もありません。食べれば下痢くらいするかもしれないけど、食べなければ大丈夫。大規模に殺虫剤をふりまくと、そのガだけじゃなくて益虫のミツバチやテントウムシなんか全部死にますから、かえってマイナスが大きい。したがって、市にはお願いしません。来年になれば天敵が増えてそのガも減りますよ」

「……………」

自然界では、ある生物だけがいつまでも大発生することはあり得ません。キオビエダシャクの場合も、天敵である鳥の方がじきに「毒」に慣れて幼虫を食べるようになるし、同じく天敵の寄生バエや寄生バチだってすぐ「毒」に適應します。そしてどんどん天敵が増えれば、それらの天敵にやられてガの大発生はじきに落ち着きます。と、あちこちでエラソーに講釈しましたが、とはいえこのガの発生を以前に経験したワケではないので、実のところ少し心配でした。本当に落ち着くだろうか。落ち着けばいいが……また大発生したらメンツ丸つぶれ……

幸い、今年になって大発生は劇的に収まりました。あちこちにまだ発生してはいるけど、庭のカラスザンショウの花には今年たったの1匹も飛んで来ません。もちろん、天敵が増えた以外に、多くの住民の皆さんがタモ網で成虫を採ったり、枝をゆすって幼虫を地面に落とし踏み潰した効果もあるでしょうが、いずれにしても、良かった良かった、何とかメンツをつぶさずにすみました。ホッ。

南方系の昆虫が北上してくるのは、「温暖化、温暖化」とすぐに騒ぐ最近に限ったことではありません。今から50年近く前、私がまだ中学生の頃、それまで九州本島最南端の佐多岬を北限として屋久島以南にしかいなかったタテハモドキというチョウ（写真）が、突然宮崎平野に出現しました。初めて見た時には大いに興奮し、ドキドキしながら一生懸命追い回したけど、2年目にはそれほど珍しくなくなり、3年目の9月から10月初めにかけては、下北から花ヶ島一帯の田んぼの畦で、文字通り『稲穂が真っ赤』になるほど大発生しました。夕方になると、田んぼから移動した何十何百のタテハモドキが平和台の新池や名田池のほとりのススキに鈴なりにぶら下がり、秋口のさわやかな風に吹かれて右に左に揺れ動く。その様はまさに壮観そのもので、採集するのも忘れて仲間たち数人で呆然と眺めたものでした。しかし4年、5年と時が経つにしたがって次第に数が減り、適当な個体数で平衡状態に達したのか、今は多くも少なくもないごく普通のチョウとして、大昔からいたかのようにすました顔をしています。成虫で越冬するので、天気の良い暖かい日には、真冬でもよく人家の庭や畑の陽だまりを緩やかに飛んでは日向ぼっこをします。きっとあなたの庭にも飛んでいるはず。（次頁へ続く）



キオビエダシャク



タテハモドキ

(前頁から続き)

皆さんはソテツを食べるチョウを知っていますか。(知らないよね)

もちろんあのカチカチの硬い葉を食うわけではなく、柔らかい新芽や若葉をガリガリかじって骨だけにするソテツの大害虫。名前をクロマダラソテツシジミといいます(写真)。長ったらしくて言いにくいので、鹿児島島の同好者はクロとマダラとソテツシジミの頭文字を取ってクマソと呼びます(熊襲じゃないよ)。フィリピンでは戦前から知られていましたが、それが台湾を経由して北上し、2006年には石垣島・西表島で発生。2007年秋には更に北上して鹿児島県指宿市一帯で大発生。話を聞いて、私も高いガソリン代と高速代を払い、カミサン連れで片道4時間かけてわざわざ採りに行きました(正直に白状しますが、現場に着いてすぐ「これ、そうじゃない?」と先にクマソを見つけたのはカミサンです。この原稿を読んだ彼女が「最初に見つけたのはアタシだ!」と言い出したので、思い出したくないことを思い出しました)。ところが何のことはない、2008年にはとうとう宮崎市にも現れ、大宮中学校の玄関脇の立派なソテツも、神宮町A医院の玄関横のかわいらしいソテツも、若葉がきれいに齧られてポロボロになってしまいました。今年もまた大発生。暖かい日には、12月でも薄青い小さなチョウがあなたの花壇をチラチラ飛んでいるかも。それがクマソです。



クロマダラソテツシジミ(クマソ)

さて、世界一危ない昆虫が大宮地区にもいるのですが、それは何でしょうか? 答えはオオスズメバチ(写真)。マムシにかまれてもせいぜい熱を出して数日寝込むだけ。ハブにかまれて死ぬ人は年間数人。熊に襲われて死ぬ人も年間数人。オオスズメバチに刺されて死ぬ人は、日本中で毎年10数人を数えます。でも、普段花や樹液に来ている時は、ひたすら餌を集めることに熱中しているので、よほど刺激しない限り大丈夫です。すぐ近くに寄ってきたり、あなたの服に止まったりしても、絶対に手で払わないように。たまたま何かを餌と勘違いして寄ってきただけなので、じっと我慢していればじきにどこかへ飛んでいきます。しかし、数匹のオオスズメバチが、行く手を塞ぐようにホバーリングしていた時は要注意。すぐ近くに巣があって、「それ以上近づくな!」と威嚇している可能性が高い。大きな牙を噛み合せてカチカチと音を立てることもあります。この場合には、ゆっくりあとずさりしてその場を離れること。とにかく、巣に近づくのはやめましよう。

多くの方は、ハチが多い季節は夏だと思っているでしょうが、実は11月が一番多い……。平和台の植輪公園の前や玄関横に植わっている大きなサザンカの花には、晩秋にオオスズメバチやキロスズメバチがやってきます。大宮小学校や池内小学校の子供たちに見せるために、毎年オオスズメバチを採りに行きますが、今年は昨年に比べて数が少なく、しかも体が二回りも小さい。夏場に、餌になる昆虫が少なかったせいでしょう。

ところで、スズメバチに刺されるとどうなるか知りたいですか(知りたいよね)。えびの市の山奥で、近づいてきた蜂をうっかり手で払ったために、キロスズメバチに右眉を刺されたことがあります。あっと思った時には、もうコメカミがジンジンして猛烈に痛い。激痛でほとんど眠れず、翌朝起きたら顔の半分がはれ上がって右目が塞がってしまい、数日間不便な暮らしを強いられました。ただ一つ良かったのは、プチ整形したみたいに右目の下のタルミが取れたこと。今度左眉を刺されれば左目のタルミも取れるけど、実は2度目は1度目より危ない。場合によってはひどいショック症状を起こして死ぬこともある。目の下のタルミより命の方が大事です。気をつけなければ。



オオスズメバチ
出典(かがくナビ)

皆さん、何度も言いますが、くれぐれもスズメバチを手で払ったり、はいたり、つかんだりしないように。

徒然草・・・

今回の表紙は「大宮中学校吹奏楽部」の皆さんにお願いした。「若いっていいなあ～」と撮影時につくづく思ったおじさんであった。未来に無限の可能性を秘めた彼らが羨ましくて仕方なかった。キラキラ輝く瞳が眩しかった。大人になるにつれ、人は名誉欲や出世欲、他人を見下す心など、色々なものを身にまとっていく。屈託なく笑って写真に納まってくれた生徒さん達を見て、自らを省みた・・・「あの頃の夢をいったいくつ果たしたのだろう・・・」と。多くの「夢」を捨ててしまった気がする。

吹奏楽部の皆さん、青春の真ただ中にいるあなた達・・・時には辛く悲しい涙、悔し涙を流すこともあるだろう。でも、部活に取り組むあなた達には、必ず大きな心の財産が出来る。決して消えることのない友情、想い出、達成感が・・・。

何事も諦めない、途中で投げ出さない・・・ましてや、やる前から「これは自分には出来ない」という諦めだけはしないで欲しい。失敗したっていいじゃないか。

今でこそ沢山の日本人が海を渡った大リーグだが、先達の野茂英雄氏の言葉、『夢に破れる感動は、その夢を追った者にしか味わえない』・・・この言葉を君達に贈ります。

いつも素晴らしい演奏を有難う! 表紙を飾ってくれて本当に有難う!

『編集後記』

つい先日、とある方の体験発表の資料(パワーポイント)を作成するお手伝いをした。私の母より少しお若いぐらいの方だ。打ち合わせをしていたら、発表に対する熱い想いがヒシヒシと伝わってきた。「私はこういう事を皆さんに伝えたいのよ」と仰る姿には、地域を良くしようと思う気持ちが溢れていた。

こういう方のお手伝いは燃える……。このページで伝えたい事はきっとこんな事だろうと想像が出来る。どんどん仕事が進んだ。無事に発表を終えられてお礼を言われたが、お礼を言いたいのはこちらの方だった。お幾つになられても地域を思う気持ちの大切さを教えていただいたように思う。事務所には沢山の地域思いの方々が来られる。「絆」・・・この言葉を実践されてる人生の先輩方に今宵、乾杯!・・・。(S)